







令和6年度「土佐の匠」認定者の技能功績等の概要

認定者	技能の分野	技能功績
<p>おがわ きよひろ 小川 清広</p> <p>54歳</p> <p>錦山カントリークラブ 料理長</p> <p><推薦団体> 一般社団法人 全日本司厨士協会 四国地方本部 高知県本部</p>	<p>西洋料理</p>	<p>◆ <u>西洋料理一筋、宴会料理やコース料理といった様々なジャンルの調理技能を有する料理人</u></p> <p>39年間、西洋料理業界で研鑽を重ね、宴会料理やコース料理などに関する幅広い知識・技能を習得している。</p> <p>年2回（各10日間）開催するイベント（さくら祭り（3月下旬）、コスモスフェスティバル（10月））では、ビュッフェスタイルで、25～30種類の料理と、屋台を出して料理人が客前でステーキや寿司、天ぷらなどを提供しており、期間中のプレー予約はキャンセル待ちとなるなど好評を博している。</p> 
<p>くろかわ てるお 黒川 輝雄</p> <p>55歳</p> <p>株式会社田中ライム工業 現場長</p> <p><推薦団体> 南国市商工会</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※ 土佐漆喰の主成分として使用する消石灰の名称</p> </div>	<p>石灰製造</p>	<p>◆ <u>土佐漆喰の原料となる地灰を土佐塩焼工法により焼成する熟練技能者</u></p> <p>地灰^{ちばい}*製造に必要となる窯の焼成温度と焼成箇所をコントロールする技能を保有している。</p> <p>これまでの経験に基づき、その日の天候を勘案しながら、投入する石灰石のサイズ、配置、コークスの量により、窯の焼成温度や燃焼箇所をコントロールし、良質な地灰を生産する高い技能を持っており、それをもとに生産された土佐漆喰は皇居大手門に採用されるなど、高い評価を得ている。</p> <p>地元小学校の工場見学では現場担当責任者として、石灰の魅力発信に努めた。</p> 

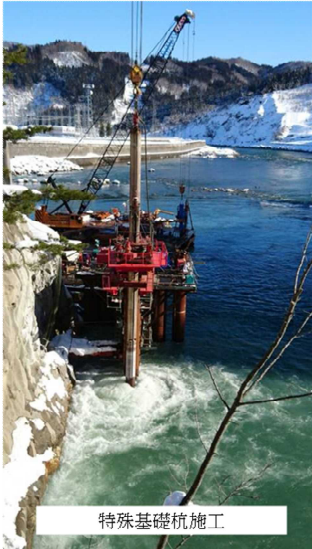

※令和6年4月1日時点の年齢

令和6年度「土佐の匠」認定者の技能功績等の概要

認定者	技能の分野	技能功績
<p>しもむら ゆうせい 下村 勇成</p> <p>68歳</p> <p>株式会社南国ミロク 顧問</p> <p><推薦者>一般推薦 株式会社 南国ミロク 代表取締役社長 村木 昭宏</p>	<p>金属加工</p>	<p>◆ <u>ライフル銃の銃身加工スペシャリスト</u></p> <p>入社以来、約半世紀にわたりライフル銃の銃身加工に携わり、銃身の穴あけ加工、ライフリング（集弾性能を高めるらせん状の溝）加工、歪み修正に必要となる技能を保有しており、氏が最終加工を担うことで、ミロクのライフル銃の品質が担保されている。</p> <p>ミロクグループが生産するライフル銃は集弾率が高いとブローニング社（米国）から評価を得ており、「Made in MIROKU」は1つのブランドとして海外で広く認知されている。</p> 
<p>たかつか かずふみ 高塚 和史</p> <p>46歳</p> <p>はりまや町 季節料理 高塚屋 店主</p> <p><推薦団体> 高知県 日本調理技能士会</p>	<p>日本料理</p>	<p>◆ <u>京料理で培った技能、価値観、世界観を取り入れた「品のある土佐料理」を創作する料理人</u></p> <p>京料理の技能や感性を取り入れた「品のある土佐料理」を作り上げる技能を有している。</p> <p>会席料理などの献立に絵を添えた「絵献立」の技能に優れている。</p>   <p>また、ものづくり名人派遣事業において、中学・高校等で年に1～2回、料理教室を開催している。</p> 

※令和6年4月1日時点の年齢

令和6年度「土佐の匠」認定者の技能功績等の概要

認 定 者	技能の分野	技 能 功 績
<p>つつい ひでかず 筒井 秀和</p> <p>60 歳</p> <p>株式会社高知丸高 施工工事部 部長</p> <p><推薦団体> 一般社団法人 高知県建設業協会</p>	<p>特殊基礎杭 施工</p>	<p>◆ 特殊基礎杭施工ができる県内唯一の技能者</p> <p>入社以来、長年にわたり地滑り抑止杭基礎や橋梁等の硬質地盤への大口径大深度の基礎杭施工に従事し、現場条件に応じて最適な施工を行うことができる技能を有している。</p> <p>また、中国やミャンマーからの技能実習生に対して、技能や日本語能力の向上のため、常に丁寧に指導教育し、良好なコミュニケーションをとるとともに、日本人従業員と実習生の架け橋になり、お互いの信頼関係を築くことに注力している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="775 846 1088 1393">  <p>特殊基礎杭施工</p> </div> <div data-bbox="1104 846 1449 1290">  <p>筒井氏</p> <p>技能実習生</p> <p>機械の整備方法を指導</p> </div> </div>

※令和6年4月1日時点の年齢